

協豊会関東地区 第1回グループ活動を開催しました

協豊会関東地区では7月31日(月)にトヨタ自動車東京本社において、2017年度第1回グループ活動を開催しました。この日の活動には、48社53名の多数が参加し、本年度のグループ活動の幕開けとなりました。

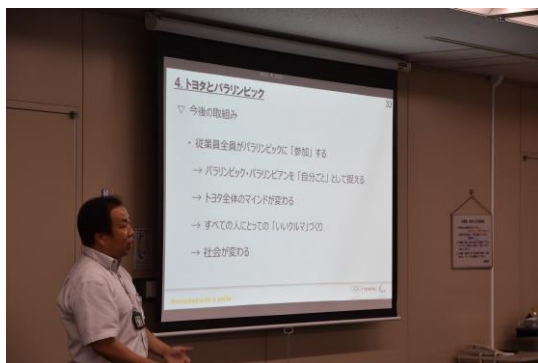
開会にあたって会を代表して、協豊会関東地区 近藤総務運営委員長より開会挨拶と、今年度の活動計画の説明が行われました。

引き続きグループ活動は、トヨタ自動車殿による講演から始まり、最初に『パラリンピックにおけるトヨタの取組み』について、総務・人事本部 廣田担当部長さんよりご紹介をいただき、続いて『オリ・パラ等経済界協議会の取組み』をオリンピック・パラリンピック部 村井副部長さんよりご説明をしていただきました。

廣田部長さんの『パラリンピックにおけるトヨタの取組み』では、トヨタさんが関わる多くのスポーツ、長い歴史の中で活躍しているスポーツやトップアスリートを抱えたスポーツについて、そのモチベーション等を含めて紹介された後、トップ・パートナーとしての「オリンピック・パラリンピック」に対する様々な取組みについて説明をされました。

特に「パラリンピック」への取組みでは、これまでの数々の活動を、エピソードを交えて紹介され、その結果として得られた多くの「気づき」を大切に、新たにグローバルを交えたオールトヨタで、更には販売店も巻き込んだの応援・支援の取組みについて説明されました。

そして改めて全従業員の積極的なパラリンピックへの参加・応援を促して行きたいということでお話を終えられました。



<講演される廣田部長>



<講演される村井副部長(左側)>

続いて、村井副部長さんの『オリ・パラ等経済界協議会の取組み』ではトップ・パートナーとして、「オリンピック・パラリンピック」を通じて実現したいことの取組みについて、「モビリティ社会の素晴らしさ・楽しさ」を世界に発信し、「スポーツを通じ、共生社会の実現とオールトヨタでのより一層の一体感醸成」にチャレンジし、更に「オリ・パラ成功に向けたムーブメントを活用し、経済界一体となってレガシーを残す」活動について説明されました。

具体的には、「パラスポーツ観戦応援」や「体験教室」、「競技会場の美化活動」「企業合同物産展」など、全国規模での活動を紹介していただき、最後に「協豊会の皆様にも是非活動に数多くご参加いただきたい」と結ばれました。



<熱心に講演を聞く参加者>



<活発なグループ別懇談>

引き続き、本日のグループ別懇談では『『オリ・パラ活動』、当社では! ?』をテーマにして、各社の「オリンピック・パラリンピック・ソフトレガシー形成」への取組みについてディスカッションが行われ、今後の「オリパラ活動」に向けて大変有意義な情報交換の場となりました。

最後に、「トヨタファンづくり」のコーナーとして、『トヨタの新規事業（エネルギー）の取組み』についてトヨタ自動車 新事業企画部企画室 村松 GM さんよりご紹介をいただきました。そして、(株)トヨタタービンアンドシステム 三浦常務さんより、新電力を活用した原価低減のご紹介をしていただき、第1回のグループ活動は盛況のうちに終了しました。



<説明される村松 GM>



<説明される三浦常務>

なお、講演会の終了後、今回のグループ活動が今年度のキックオフ会となったことから、ご来賓もご参加いただいたの懇親会を開催し、会員各社相互及びトヨタさんとの交流をより一層深めることができました。